

飯塚市で「サイエンスモール」 科学の楽しさ学ぶ 空気の不思議 児童が実験

きょうまで

車輪が付いた板に風船を取り付け、
空気力で机の上を進ませる実験を
する子どもたち



子どもたちに科学の楽しさを伝える「サイエンスモール in 飯塚2019」が14日、飯塚市のイヅカコミュニティセンターで始まった。福岡大理学部の小隈

龍一郎助教を講師に招き、理科を題材にした本の読み聞かせと簡単な実験を通して科学に親しんでもらう「理科読」があり、午前と

午後2回で小学生20人が参加した。飯塚市立図書館や九州工業大、西日本新聞社などで行う実行委員会の主催。15日まで。

理科読のテーマは風船や空気の不思議。絵本の読み聞かせでは、風船の中に空気が入っていること、テープを貼った部分に針を刺しても割れないことが紹介された。実験では、ヘリウムガスを使い、中に入った気体によっては風船が浮いたり沈んだりすることや、車輪付きの板に風船を取り付けて口を放すと、空気が勢いよく噴き出て板が前進することを学んだ。

昨年続いて参加した飯塚市の幸袋小3年、国近咲希さん(9)は「実験をしながら、知らないことをたくさん知れておもしろかった」と話した。

15日は、筑豊地区の大学や高校、企業などが科学に

筑豊

筑豊総局

0948 (22) 3500
FAX 0948 (22) 3503

直方支局

0949 (26) 1361

田川支局

0947 (42) 2205

まつわるブースを設ける「科学広場」や、小学生から大人までを対象にした講演会、理科実験・工作教室がある。同図書館110948(2)5552。(長美咲)

西日本新聞朝刊 2019年9月15日(日) 筑豊版20面